

<b>還元澱粉糖化物液剤</b> <b>エコピタ液剤</b>	<b>取扱メーカー：</b> 協友アグリ  <b>原体メーカー：</b> 協友アグリ
<b>成分：</b> 還元澱粉糖化物……………60.0%	<b>性状：</b> 無色透明水溶性液体 <b>毒性：</b> 普通物 <b>消防法：</b> ——

### 【品目特性】 ……………

- 有効成分は食品であるので安全性に優れ、収穫前日まで使用できる。
- 有機 JAS 使用可能農薬。
- 薬剤抵抗性が発現しやすいアブラムシ類・ハダニ類・コナジラミ類に効果を発揮する。
- 害虫の気門を封鎖することにより効果が発現するため薬剤抵抗性発達のおそれがない。
- かんきつを含む果樹類、野菜類、花き類・観葉植物等、広範囲な作物に使用できる。
- ミツバチ等の有用昆虫に対する安全性が高く、天敵類の活動にも影響が少ない。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

### 【使用上のポイント】 ……………

- 本剤は散布液が直接害虫にかからないと効果がないため、害虫にムラなくかかるよう、葉の表裏に十分に散布する。
- 害虫多発時には数日間隔での連続散布や他剤とのローテーション散布を行う。

### 【薬効・薬害等の注意】 ……………

- 本剤は害虫の卵に効果が弱く、残効も短いため、夏期高温時など害虫の増殖や圃場外からの飛び込みが活発な時は、5～7日間隔の連続2回散布や他剤との輪番で使用する。
- 共通注意事項 8. 適用作物群に関する注意事項を参照。
- カーネーションに使用する場合、茎葉のワックス層が溶け、白っぽい茎葉が濃緑色になる等の薬害を生じる場合があるので、初めて使用する場合は使用者の責任において事前に薬害の有無を十分に確認してから使用する。
- なしに使用する場合、青なし品種（二十世紀、ゴールド二十世紀など）には、薬害（褐変）が生じるおそれがあるので注意する。
- すもも、かき、ぶどうに使用する場合、幼果期以降の散布は果粉の溶脱を生じるおそれがあるので果実のある時期は使用しない。

### 【安全対策上の注意】 ……………

- 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意する。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

【適用と使用法】 .....

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期 (収穫前)	本剤及び還元源粉糖化物 を含む農業の総使用回数	使用方法
果 樹 類 (かんきつ を 除 く)	アブラムシ類 ハダニ類 うどんこ病	100 倍	200～1000 ℓ	前日まで	—	散布
かんきつ	ミカンハダニ	100～ 300 倍				
	アブラムシ類 ハダニ類 (ミカンハダニを除く) うどんこ病	100 倍				
ト マ ト ミニトマト きゅうり な す	アブラムシ類 ハダニ類		100～ 200 倍	100～300 ℓ		
い ち ご	アブラムシ類 コナジラミ類 うどんこ病	100 倍				
	ハダニ類		—	定植前		10秒～1分間 苗浸漬
野 菜 類 (いちご,トマト, ミニトマト, きゅうり, なす を除く) 豆類(種実) い も 類	アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類 うどんこ病	100 倍	100～300 ℓ	前日まで		散布
とうもろこし	ムギクビレアブラムシ					
ご ま	アブラムシ類					
花 き 類・ 観 葉 植 物	アブラムシ類 コナジラミ類 ハダニ類 うどんこ病		100 倍	発生初期		
	き く	ハダニ類				